

4K対応55型ワイド 液晶ディスプレイ LCD-SU551EPB

取扱説明書









2 もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください	3
ご使用上のお願い	8
ご使用の前に	10
● 本書について	10
●本書で使用するマークの意味	10
● リモコンについて	11
各部のなまえとはたらき	12
●本機前面/側面/背面	12
● リモコン	14
● ホーム画面について	16

接続とかんたん一括設定

準備の流れ17			
● 準備1	▶付属品を確認する		
● 準備2	▶リモコンを準備する		
● 準備3	▶本機を設置する	18	
※本機のロゴ ^ル	を隠したい場合は… ・シールを貼る		
外部機器を	こうなぐ		
● 準備4	▶電源をオンにする	22	
● 準備5	▶「かんたん一括設定」をする.	23	

再生する

ホームネットワーク上の機器や

USBメモリーの写真や動画を見る	27
● ファイルを表示する	27
● 動画を見る	28
● 写真を見る	30
● 音楽を聴く	31
● USBメモリーのプレイリストを再生する	32
本機でできること	34
 画面表示を確認する 	34
● メニューを使う	35
● 画面サイズを選ぶ	36
● ヘッドホン音量を変更する	38
● 自動的に電源をオンまたは	
スケジュール再生を開始する(予約タイマー))	38
● 自動的に電源をオフにする(電源オフタイマー)40
● 映像を非表示にする(消画)	40
● 現在時刻を表示する	40
HDMI-CEC対応機器を操作する	41
 HDMI-CEC対応機器の操作のしかた 	41
 HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する 	42
 接続機器の電源をオフにする 	42
● 接続機器に連動して本機の電源をオンにする。	43
● 視聴中の映像を接続機器(レコーダー)で録る	43

各種設定

ネットワークをつなぐ	45
●LANケーブルを使って接続する	
 無線LANを使って接続する 	46
● ネットワーク接続の設定をする	48
● ディスプレイ名を設定する	52
● ネットワーク経由で電源オンを設定する	52
画質を設定する	53
音声を設定する	56
省エネ設定をする	58
接続機器設定をする	59
● HDMI-CECを設定する	
● HDMI信号フォーマットを設定する	60
かんたん一括設定で再設定する	60
● かんたん一括設定を表示する	60
自己診断機能について	61
 自己診断機能を使う 	61
● 自己診断機能の項目と診断内容	61
その他の設定をする	63
● その他の設定の表示のしかた	63
● 電源LED	63
● クイック起動を設定する	64
● ディスプレイの設置を設定する	64
● メニューの表示形式を選択する	
(横置き・縦置き)	64
● ビデオ画面自動切換の設定をする	65
● 本機のリモコンで他の当社製ディスプレイな	どを
動作しないようにする	65
	66
● ソノトワェアを更新する	66
設定を初期化する	67
● 本機の情報を確認する	67

さまざまな情報

文字人力のしかた	68
各メディアに関するその他のお知らせ	69
● USB機器について	69
● 動画ファイルについて	69
● 写真ファイルについて	70
● 音楽ファイルについて	70
● ファイルとフォルダーについて	70
仕様	71
	72
アフターサーヒス	
アフターサーヒス ハードウェア保証規定	
アフターサーヒス ハードウェア保証規定 困ったときは	73 74
 アフターサーヒス ハードウェア保証規定 困ったときは あかしいな?と思ったときの調べかた 	73 74 74
アフターサーヒス ハードウェア保証規定 困ったときは ● おかしいな?と思ったときの調べかた 無線LANを使う際のお願い	73 74 74 74
アフターサーヒス ハードウェア保証規定 困ったときは ● おかしいな?と思ったときの調べかた 無線LANを使う際のお願い 著作権などについて	73 74 74 74 76 78

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。





誤った取り扱いをしたときに、 傷害または家屋・家財などの損害 に結び付く可能性があるもの

● 絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
 ▶ 絵表示の例



●記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△ 記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

▶ 絵表示の意味

0	必ず指示に従い、おこなってください。		絶対に濡れた手で触れないでください。
	絶対に分解・修理はしないでください。		破裂に注意してください。
	絶対に濡らさないでください。	\bigcirc	絶対におこなわないでください。
	高温に注意してください。		絶対に水場では使用しないでください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてくだ さい。		注意してください。
	絶対に触れないでください。		

※この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

■ 本液晶ディスプレイの廃棄

- 事業者が廃棄する場合
 本液晶ディスプレイを廃棄するときには廃棄物管理票(マニフェスト)の発行が義務づけられています。
 くわしくは各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。
 廃棄物管理票は、(社)全国産業廃棄物連合会に用意されています。
- 本機を廃棄されるときは[すべての初期化]をおこなうことをおすすめします。
 くわしくは「設定を初期化する」をご覧ください。P.67



■ 乾電池の取り扱い



乾電池を使用する場合は、被覆が やぶれたり、はがれたりしていない ものを使用する

 乾電池そのものがショートし、やけどする危険が あります。



乾電池は乳幼児の手の届くところに 放置しない

 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に ご相談ください。



次ページへつづく 🕤

安全のために必ずお守りください(つづき)



■電源コード・プラグの取り扱い	
お手入れの際、電源プラグをコンセント から抜く	
 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。 	
次のような場合は、電源プラグを コンセントから抜いておく - 長期間使わないとき	
- JR1 29 るとさ • 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。	
本機を移動させる場合は、 電源プラグをコンセントから抜き、 プ ^{ラグを抜く} 外部の接続線もはずす	
 そのまま移動するとコードに傷がつき、火災・感電の 原因となります。 	
○ 電源コードを引っ張らない ☆ ☆ ☆	
 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張ると コードが傷つき、火災・感電の原因となります。 必ず電源プラグを持って抜いてください。 	
電源コードを引き回さない	
 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。 コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因となります。 	
電源プラグに洗剤や殺虫剤を かけない かけない	
● 発煙・発火の原因となります。	
電源コードを熱器具に近付けない 高温注意	
 コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となること があります。 	

■ご使用になるときのご注意



液晶パネルの破損

 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネル が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないで ください。けがをする恐れがあります。



液晶パネルから漏れた液体(液晶) には触れない

 ・ 誤って液晶パネルの表面を破壊し、中の液体(液晶)が 漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、 皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が 目や口に入った場合は、すくに水で5分以上洗い、医師 の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が 付着した場合は、すぐアルコールなどで拭き取り、石鹸 で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や 衣服を傷めます。



長時間にわたり、一定の場所に 触れ続けない

一定時間使うと、本製品を熱く感じる場合があります。
 使用中や使用直後に本体に長時間触れると、やけどの原因になります。

■ 乾電池の取り扱いについての ご注意



乾電池は正しく挿入する

正しく入れる

- プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる。
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を 汚損する原因となることがあります。

指定されていない乾電池を使用しない

使用禁止

 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることが あります。



新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて 使用しない

 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることが あります。



乾電池の取り扱いに注意

- ショートさせない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない
- 破裂する危険があります。

ご使用上のお願い

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

置き場所や取り扱い

- 非常時をのぞいて、電源がオンの状態では絶対に 電源プラグをコンセントから抜かないでください。 故障の原因となります。
- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ[クイック起動]を[切]に設定して、本機の電源をオフにしてから抜くことをおすすめします。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように 毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動 を与えないでください。
- ソフトウェアのダウンロードおよび更新中に本機の電源プラグを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声が乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに 悪影響を与えることがあります。また、本機の近く で携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声に ノイズが入ることがありますので、本機からでき るだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器 を取りはずした状態でおこなってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像 や音声に悪影響を与えることがあります。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少 熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、 リモコンの乾電池を取り出しておいてください。 また、外部接続機器がつながっている場合は本機 から取りはずし、電源をオフにしておいてください。
- ふだん使用しないときは電源をオフにしてください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。 (This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくため にできるだけ丁寧に取り扱ってください。
- 1日12時間をこえる使用は避けてください。本機は、 24時間連続使用を前提とした商品ではありません。 1日12時間以内(環境温度25度)での使用を前提に 設計されています。長時間連続して使用した場合は、 有寿命部品の消耗を加速させる原因となります。
- 画面の焼付きを防ぐために 同じ画面を長時間表示させていると画面の焼付きを 起こすことがあります。

- ●パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- ●なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

、お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に 布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に 乾いた布で拭く。
- ペンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わない。変質やひび割れなどの原因になります。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しない。水滴などがついた場合はすぐに柔らかい布などで拭き取る。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

修理について

本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や 修理をしないでください。 電源プラグを抜き、弊社サポートセンターへご相 談ください。

本機の設置についてのお願い

- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど温度 が高くなる場所や、熱源になるような機器の上に は置かないでください。故障の原因となります。
- 本機は室内向けです。屋外などの雨がかかる場所には設置しないでください。
- スタンドを取り付ける際には、最低限、下図の スペースを設けてください。



不安定な場所に置かないでください。
 台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、
 本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。



- 本機は水平面に対し垂直の状態で使用してください。 傾ける場合は、上向き/下向き20までにしてください。
- ・ 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの 軟らかい面への設置を避けてください。

 ・本機の下へ物をはさまないでください。

転倒防止についてのお願い

⚠注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因となることがあります。 ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置 をお願いします。 以下の処置内容は、 振動や衝撃での製品の転倒、 落下によるけがなどの危害を軽減するためのものですが、 すべての 地震などに対してその効果を保証するものではありません。

ディスプレイ台や家具などへの固定

お使いのディスプレイ台や家具が木製の場合は、下図の通り、付属の転倒防止バンドをディスプレイ側固定ネジで本機に取り付けた後、ディスプレイ台側固定ネジでお使いのディスプレイ台や家具に固定してください。



本機を再び移動させるときは、ネジやひもをはずしてから移動させください。
 ネジ、ひもなどの取り付けは確実におこなってください。

壁や柱などの安定した場所への固定

下図の通り、本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り 付けてください。



本機を再び移動させるときは、ネジやひもをはずしてから移動させください。
 ネジ、ひもなどの取り付けは確実におこなってください。

9



ご注意

ご使用の前に

本書について

- ■本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- ■「本機」とは「お使いのディスプレイ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、マーク、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- ■本書で例として記載している各画面の内容やフリーワードなどは説明用です。

本書で使用するマークの意味

マーク	説明
ご注意	取り扱い上のご注意を記載しています。
お知らせ	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、 制限事項などを 記載しています。
P.1	関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。
「セットアップガイド」 をご覧ください	関連する内容を同梱されている「セットアップガイド」に記載しています。 「セットアップガイド」を参照してください。
→	リモコンの 👦 や ▶ などを押して、項目の決定や選択をすること、 または次の動作に移行する場合に記載しています。

本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。 本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

10

リモコンについて

「アルカリ乾電池ご使用時の注意」

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれている場合)に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどをする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、 被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

- 乾電池ご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池 など)を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれ の乾電池の性能が違うため、発熱、破裂、発火の原因となりますのでご注意ください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池(1.5 V 2本)をお使いください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。
- Wake-on-LANに対応した機器から本機を操作する場合は、操作結果が確認できるように本機が見える位置から操作してください。

▶ リモコンが効かなくなったら…

 リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたときは乾電池 が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。 (付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。)

▶ リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

距離・・・本機正面から7 m以内

角度・・・本機正面から上下約20°以内(5 m以内) 左右約30°以内(5 m以内)

• リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。



▶ リモコンの取り扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや高温になる場所、湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、濡れたものの上に置いたりしないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の高い液体で拭かないでください。

各部のなまえとはたらき

本機前面/側面/背面



12



ご注意● 接続は電源プラグを抜いた状態でおこなってください。

- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
- 映像····黄、音声-左···白、音声-右···赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のUSB1 メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2 メディア再生用(USBメモリー用)端子には、USBメモ リー以外のものを接続しないでください。
- USB1 メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2 メディア再生用(USBメモリー用)端子は、先に接続した端子が 優先で使用できます。
- USB1 メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2 メディア再生用(USBメモリー用)端子を同時に使用することは できません。

はじめに

リモコン

ふだんよく使うボタン



● リモコンが正しく操作できないときは、「おかしいな?と思ったときの調べかた」をご覧ください。P.74

乾電池の入れかたについてくわしくは「リモコンを準備する」をご覧ください。P.18

0

ご注意

はじめに

● リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。

さらに便利に使いこなすボタン



- (A)映像モードを切り換える 253
- B 音声モードを切り換える P55
- ○見た目の解像度を上げ精細な映像にする №55
- D USB再生画面に切り換える P27
- (E) ホーム画面を表示する P.16>
- 画面サイズを切り換える P.36
- G 画面表示を切り換える P.34
- H メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などを する
- ()メニューなどの画面を表示中に1つ前の画面に戻る
- → 動画を見るときに使用する P.28
- Ҝ メニューを表示する 🖽 5
- ・ 画面に色ボタンの表示があるときに使用する
 ・ 画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って 操作してください。
- М リピート再生をする №23
- N スライドショーやプレイリストの間隔を設定する P.30、P.33
- 🕕 時計を表示する 🖽
- ブルーライトを調整する №53

各部のなまえとはたらき(つづき)

ホーム画面について

いろいろな機能を呼び出せます。 操作ができない項目はグレーで表示され、選択できません。

基本的な使いかた



各項目で操作できる内容

以下、すべての機能をご利用いただくためには、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

再生をする	写真/動画/音楽ファイルなどの一覧を表示します。	
USB再生	P.27	
ホームネットワーク	P.28	
プレイリスト再生	P.32	
予約タイマー	P.38	

設定する	本機の設定やお知らせを表示します。	
〈 機能設定 〉		
画質設定	P.53	
音声設定	P.56	
省エネ設定	P.58	
接続機器設定	P. 59	
その他の設定	P. 63	
初期化	P.67	
〈 ネットワーク設定 〉		
ネットワーク接続設定	P.48	
ネットワーク連携設定	P.52	
〈 かんたん一括設定 〉		
かんたん一括設定	P. 60	
〈自己診断機能〉		
本体	P.61	
USBXEU-	P. 62	

準備の流れ



準備の流れ(つづき)



『セットアップガイド』に記載されているすべての部品が正しく付属されていることをご確認ください。



→ 1/H ○ ▲ 1/K ~ 山 □ 9 ~ 1/K ~ 山 □ 9 ~ ↓ ▲ 2 覧 < ださい ▲ 2 覧 い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。本機にスタンドを取り付ける際には、スタンドの前後

お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。本機にスタンドを取り付ける際には、スタンドの前後 が正しい方向となっているかどうか注意して取り付けてください。 取り付け方法は、付属品の『セットアップガイド』をご覧ください。

● 本機の設置は、必ず大人2人以上(3人以上を推奨)で作業してください。

- スタンド取付ネジは、取扱説明書などと同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、プラスドライバー(市販品:JIS2番/直径6mm)をご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、 本機の転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。
- 本機とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因となります。また、ディスプレイ台や床などが傷つくことがあります。

※本機のロゴを隠したい場合は・・・

ロゴ上貼りシールを貼る

必要により、下記の位置に付属のロゴ上貼りシールを貼ってください。



ご注意

外部機器をつなぐ

HDMI機器をつなぐ

ご使用ください。

ご注意

BDレコーダーなどの外部機器と本機を接続する場合は、外部機器のHDMI出力端子と本機のHDMI入力端子 (1~3)をHDMIケーブル(市販品)でつないでください。

また、HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器にHDMIケーブルで接続すること により、相互連動動作を可能にします。HDMI機器連動機能について、くわしくは「HDMI-CEC対応機器を操作 する |をご覧ください。 P.41

HDMI-CEC対応BDレコーダー li i HDMI 3 央像·音声入力 HDMIケーブル (市販品) HDMIケー -ブル (市販品) 18Gbps対応 HDMIケーブル (プレミアムハイスピードHDMIケーブルなど) (市販品) ____ Ultra HDブルーレイプレーヤー 4Kチューナ-パソコン 対応している映像信号 お知らせ 480i,480p,720p, 1080i、1080p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz、 2160p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz 対応している音声信号 種類:リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス サンプリング周波数:48kHz/44.1kHz/32kHz ● HDMI機器の映像や音声を楽しむときは、[入力切換]で[HDMI1~3]を選んでください。

例: HDMI-CEC対応BDレコーダーやパソコンをHDMI入力端子に接続する

HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。

● HDMI入力が正しく映らない場合は、 (ホーム) ➡ [設定する] ➡ [機能設定] ➡ [接続機器設定] ➡ [HDMI信号フォーマット]で接続しているHDMIを選んで、映像に合った設定にしてください。P.60

非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。

Ultra HDブルーレイプレーヤーなどで4K映像や4K HDR映像を視聴する場合は、18Gbps対応HDMIケーブル (プレミアムハイスピードHDMIケーブルなど)をご使用ください。

● HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえ。

- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品ごと に接続方法や動作が異なりますので、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンと接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。



19

ARC対応のオーディオ機器とつなぐ

ARC(オーディオリターンチャンネル)について

ディスプレイとオーディオ機器(AVアンプ、サウンドバーなど)をHDMIケーブル1本で接続して、映像と 音声のディスプレイへの入力とデジタル音声のディスプレイからの出力が可能で、従来必要だった光デジ タルケーブルが不要になります。ディスプレイもオーディオ機器もARCに対応している必要があります。 また、本機はHDMI1入力端子のみARCに対応しています。

例: ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプをHDMI1入力端子に接続する

本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。P.42 接続後は、下記の設定をする必要があります。

- [HDMI機器連動]を[入]に設定する。P.59)
- 光デジタル音声出力接続時は、接続先に合わせて[デジタル音声出力]を設定する。 P.57
- [スピーカー出力]を[外部音声機器]に設定する。P.42



20

接続とかんたん一括設定

DVDプレーヤーとつなぐ(HDMI出力が無い機器)



- 映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。この場合は、「**画面サイズ**」でお好みの お知らせ 画面サイズを選んでください。P.36
 - つないだ機器で見るときは、入力切換で[ビデオ]を選んでください。
 - DVDプレーヤーの接続について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
 - DVDプレーヤー側のディスプレイ画面サイズの設定を16:9にしてください。 4:3(レターボックス、パンスキャン)に設定すると適正な画面サイズで見ることができません。

光デジタル音声入力対応のオーディオ機器との接続

ご注意

光デジタル音声入力端子を持つオーディオ機器(AVアンプ、サウンドバーなど)を接続すると、デジタル音声で 聞いたり録音したりすることができます。

マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、外部入力データのサラウンドを迫力ある音声で楽しむことがで きます。接続後は、接続先に合わせて「デジタル音声出力」の設定が必要です。P.57



- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、光デジタル音声入力端子を持つ お知らせ 機器です。
 - PCMとは、Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
 - オーディオ機器(AVアンプ、サウンドバーなど)を使って音声を聞くときは、ディスプレイの音量を「O」にするか、 [スピーカー出力]を[外部音声機器]にしてください。P.42

● 接続前にディスプレイとオーディオ機器の電源を必ずオフにしてください。 ご注意

● 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

準備の流れ(つづき)



電源プラグを挿し込む

● 電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに挿し込むと、本機が通電状態になります。

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに挿し込んでください。



本機の電源をオンにする

●「かんたんー括設定」の開始画面が表示されるので、続けて「かんたんー括設定をする」をご覧のうえ、本機の 設定を完了させてください。P.23 ~ P.26



● 電源をオンにした際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。

- ●本機のリモコン受光部の位置については「リモコンについて」をご覧ください。P.11
- リモコンの準備のしかたについては「リモコンを準備する」をご覧ください。P.18

準備5 ▶「かんたん一括設定」をする

接続が終わって初めて本機の電源をオンにしたときは、ディスプレイ画面に**[かんたん一括設定]**の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

[かんたんー括設定]実行中は、電源プラグを抜いたり電源をオフにしないでください。
 [かんたんー括設定]をやりなおしたいときは「かんたんー括設定で再設定する」をご覧ください。

画面に表示されている内容を確認し、<u>横置き</u>または<mark>縦置き</mark>を選んで ◎を押す

❷ かんたん一括設定
正しくお使いいただくために各種設定を行います。
各種設定は、あとから「ネットワーク設定」と「機能設定」メニューより変更できます。
ディスプレイの設置に従って、メニューの表示形式を選択してください。
横置き
縦置き

• [かんたん一括設定]の開始画面が表示されない場合は、「かんたん一括設定で再設定する」の手順をおこなってください。 P.60

クイック起動設定を入にするかしないかを選んで 🜚 を押す

- 入を選ぶと、クイック起動を有効にし起動時間が短くなりますが、電源オフ(待機)時の消費電力 が増加します。
- 切を選ぶと、クイック起動を無効にします。

■ネットワーク設定

ネットワーク環境に合わせて設定してください。

う 有線LAN または 無線LAN を選んで の を押す 。 ネットワークの接続方法についてくわしくは「ネットワー

- ネットワークの接続方法についてくわしくは「ネットワークをつなぐ」をご覧ください。 P.45
- 有線LANを選んだ場合は、「有線LANを設定する」をご覧ください。
- 無線LANを選んだ場合は、「無線LANを設定する」をご覧ください。
- 有線LAN と 無線LAN は同時に利用できません。

有線LANを設定する

▶ 準備

24

• あらかじめ本機をLANケーブルでネットワークに接続してください。

▷ 有線LANを自動で設定する

[ネットワーク設定]の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続確認を開始します。 接続確認が終わると確認画面が表示されます。次へを選んで 📾 を押して、手順 4 「日時設定」に進ん でください。 P.26

▷ 有線LANを手動で設定する

- ① ホームを押して、設定する → ネットワーク設定を選んで 📾 を押す
- ② ネットワーク接続設定 → IPアドレス / DNS設定を選んで ∞ を押す

IPアドレス設定

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

① IPアドレス 設定を選んで 🚳 を押す

② 設定方法を選んで 📾 を押す

● ルーターにDHCP機能がない場合などは、手動を選んで設定してください。

▶ 自動取得を選んだときは

ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にIPアドレス/サブネットマスク/デフォルト ゲートウェイを設定します。

▶ 手動を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

IPアドレス	パソコンなど、すでにネットワーク接続している機器で設定しているIPアドレスの最後の2桁を、他のネットワーク機器と重複していない数値に変更し入力してください。 (3桁まで入力可能です。)例えば、パソコンのIPアドレスが「192.168.xxx.x10」の場合は、 「192.168.xxx.x11」などを入力してください。
サブネットマスク	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。

DNS設定

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

DNS設定を選んで 📾 を押す

② 設定方法を選んで 💩 を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、手動を選んで設定してください。
- ▶ 自動取得を選んだときは

ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にプライマリDNS/セカンダリDNSを設定します。

▶ 手動を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

プライマリDNS	パソコンなどの機器の優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
セカンダリDNS	パソコンなどの機器の代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシサーバー設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシサーバー設定をしてください。

- ① プロキシサーバー設定 を選んで 📟 を押す
- ② 設定方法を選んで 쪨 を押す
 - ▶<mark>有効</mark>を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

文字入力のしかた P.68

設定が終わったら、手順③に進んでください。

▶<mark>無効</mark>を選んだときは

手順③に進んでください。

- ③ 接続確認 を選んで 📾 を押す
 - 確認画面が表示されるので、 📾 を押してください。
 - 設定が終わったら、 戻る を複数回押すと、再生画面に戻ります。
 - ▶接続テストでエラーメッセージが表示されたときは

画面の指示に従ってネットワークの設定をしなおしてください。

の知らせ
● パソコンなどの機器で設定している「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリ DNS」、「セカンダリDNS」の確認方法についてくわしくはご使用のパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

無線LANを設定する

- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、 第三者に不正アクセスされ、情報漏えいの恐れがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、ホームネットワークの機能はお使いになれません。

▷ 無線LAN自動検出

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。 接続するルーターのSSIDと暗号化キーをご用意ください。

- 検出された無線LANアクセスポイントから、 接続したいルーターのSSIDを選んで @ を押す
- 😢 暗号化キーを入力し、 📥 を押す

文字入力のしかた P.68

- 確認画面が表示されるので、次へを選んで 📾 を押してください。
- 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります。(「KEY」、「セキュリティーキー」など。)
- 自動的にネットワークの接続確認を開始します。接続確認が終わると確認画面が表示されます。
 次へを選んで ※を押して、手順4「日時設定」に進んでください。 P.26

▷ 手動設定

各項目を手動で設定します。

① 🚈 を押し、接続したいルーターのネットワーク名(SSID)を入力して、 👛 を押す

(文字入力のしかた) P.68

- ② 暗号化方式を選んで 💀 を押す
- ③ 暗号化キーを入力し、 🕍 を押す
 - 確認画面が表示されるので、次へを選んで 響を押してください。
 - 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります。(「KEY」、「セキュリティーキー」など。)

ー」など。) 次ページへつづく 🔿

準備の流れ(つづき)

- ④ 接続を選んで 📾 を押す
 - 自動的にネットワークの接続確認を開始します。接続確認が終わると確認画面が表示されます。
 次へを選んで ∞ を押して、手順 4 「日時設定」に進んでください。 P.26
- ▷ かんたん接続
 - [プッシュボタン方式]でかんたんに無線LANを設定できます。
 - ① 📥 を押し、画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す
 - 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。

次へを選んで 🚳 を押して、手順 🖡 「日時設定」に進んでください。 🖳 26>

▶ PINコード接続

[PINコード方式]でかんたんに無線LANを設定できます。

- ① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選んで 📥 を押す
- ② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する

無線LAN接続設定		
PINコード 方式 2分以内に選択した無線LANアクセスポイント に PINコードを Nコード: XXXXXX 検出中・・・		
この数字をアクセスポイントに入力する		

- PIN コードの入力のしかたについて、くわしくはお使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。

次へを選んで 🚳 を押して、手順 🖣 「日時設定」に進んでください。 🖪 28

● すべての無線LANルーター(アクセスポイント)での接続を保証するものではありません。

● 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHz帯に対応した 無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善 されることがあります。

■日時設定

Δ

ネットワーク設定完了後、自動取得される日時データを確認してください。

 日時データが自動取得されなかった場合またはキャンセルされた場合は「日時設定をする」の 手順をおこなってください。P.66

■ディスプレイの設置設定

本機の設置方法によって設定を変更してください。

5 ディスプレイの設置設定を選んで 👁 を押す

• [かんたん一括設定]が完了します。

ホームネットワーク上の機器やUSBメモリーの写真や動画を見る

ホームネットワーク上の機器やUSBメモリーに保存されたファイルを再生します。



● USB 1 メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB 2メディア再生用(USBメモリー用)端子は、先に接続した端 子が優先で使用できます。USB 1 メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2メディア再生用(USBメモリー用) の同時使用することはできません。

ファイルを表示する

USBメモリーのファイルを表示する

本機の電源が「入」 のときに、 USB 1 メディア再生用 (USB メモリー用) 端子 または USB 2 メディア再生用 (USB メモリー用) 端子にファイルが保存され た USB メモリーを接続する

向きを確認し、ゆっくり挿し込んでください。



ホームネットワーク上の機器やUSBメモリーの写真や動画を見る(つづき)



全画面で再生を開始します。



再生中に 「 ・ 、 ・ 、 を 押 す

押すたびに、前または次のチャプターにスキップ・頭出しします。(2007)を1回だけ押すと、現在再生中のチャプターにスキップ・頭出しします。)

10秒戻し/30秒ス	キップ
------------	-----

再生中に ◀・▶ を押す

- ▶を押すたびに、30秒再生をスキップします。

ご注意

プレイリスト再生中およびスケジュール再生中、 10秒戻し/30秒スキップは機能しません。 サーチ(見たい場面にとばす)

再生中に メニュー を押して、 サーチ を選んで ◎ を押す

- お好みのサーチを選ぶ
 - ▲·▼ を押すたびにサーチの種類が切り換わります。
 - サーチの種類は再生しているメディア によって異なります。

3 数字の入力欄へ移動して、▲·▼ または 1 ~ 100 で数値を変更

し∞を押す

- 指定した番号または時間まで再生がス キップされます。
- ▷入力を間違えたときは ◀ を押す
- ・指定した番号や時間のチャプターやファイル がないときはスキップはできません。

 ・プレイリスト再生中およびスケジュール再生中、 サーチは機能しません。
- お知らせ ・ 再生中に 1 ~ 100 を押してチャプターを スキップすることもできます。 (音楽ファイルやJPEGファイルの再生をのぞく)

動画一覧に戻る

📑 または 📧 を押す

- 動画ファイルの再生が終わると自動的に停止し、動画一覧に戻ります。
 動画ファイルを再生中に停止させると、動画一覧に戻ります。

写真を見る

30

写真一覧の見かた

▲·▼· ◀·▶ でカーソルを移動させる

再生できないデータはアイコン表示されます。

写真一覧の続きを見る

1ページ単位で表示を切り換えることができます。

▶ 🚾 を押す

- 前のページを表示します。
- ▶ 🖬 を押す
 - 次のページを表示します。

画像を選ぶ

拡大表示や回転させたい画像を選択します。

▲·▼· ◀·▶ でカーソルを移動させる

● 選択された画像は青色に表示されます。

スライドショーを開始する

画像を選んで 🚥 を押す

- 自動的にスライドショーを開始します。
- ▶前後の画像に切り換えたいときは
 - スキップ スキップ
 【▲● ・ ▶▶ を押す。

スライドショーを終了する

💼 または 🔜 を押す

- 写真一覧に戻ります。
- 🔽 を複数回押すと写真一覧を終了します。

スライドの表示間隔を変更する

スライドショーで1枚の写真が表示され、次の 写真に切り換わるまでの時間を変更できます。

- 写真一覧を表示中に 🔤 を押す
- ※表示間隔は、メニュー → 表示間隔を選んで 定を押して表示することもできます。
- ※プレイリスト再生の場合、 表示間隔は、プレイリスト再生を表示中 に メニュー → 編集 → 表示間隔を選んで
 - を押すことでのみ表示することができます。
- ※スケジュール再生の場合、 プレイリスト再生で設定した表示間隔と 同じになります。ただし、スケジュール再生 中に表示間隔を変更することはできません。
- 5秒、10秒、15秒、30秒、60秒、180秒、 300秒から選ぶことができます。

スライドショーを繰り返し再生する

USBメモリー内のすべての写真を繰り返し再生する ことができます。

ホームネットワーク上の機器の場合は、同一階層内の すべての写真が対象になります。

スライドショーを再生中に 🔤 を押す

- ※リピートは、 Z=== → リピート を選んで を押して表示することもできます。
- USBの場合
 オフ、ファイル、フォルダー、すべてから 選ぶことができます。
- ホームネットワークの場合
 オフ、ファイル、フォルダーから選ぶことができます。

● プレイリスト再生中およびスケジュール再生中、

拡大/回転は機能しません。

- プレイリスト再生の場合
 オフ、オンから選ぶことができます。
- スケジュール再生の場合
 オン 固定になります。



画像を選んで 🚳 を押す

- 全画面表示になります。
- ▶拡大するときは
 - 📥 を押す
- ▶回転させたいときは
 - 💼 を押す

ご注意





再生する

ホームネットワーク上の機器やUSBメモリーの写真や動画を見る(つづき)

USBメモリーのプレイリストを再生する

プレイリストを再生する

- 本機の電源が「入」 のときに、 USB 1 メディア再生用 (USB メモリー用) 端子 または USB 2メディア再生用 (USB メモリー用) 端子にファイルが保存され た USB メモリーを接続する
- 2 赤→を押して、再生をする → プレイリスト再生を選んで @ を押す
- **3** お好みのプレイリストを選んで

 を押す

 しいSRメモリーは 向きを確認し ゆっくり

 しい
 - USBメモリーは、向きを確認し、ゆっくり挿し込んでください。USBメモリーにファイルが 無い場合は、[再生可能なファイルが存在しません。]と表示されます。

プレイリストを作成する

プレイリスト再生を表示中に、 🚈 を押す

● メニュー → プレイリスト作成を選んで ⁸⁸⁹を押して表示することもできます。

動画、写真、音楽のいずれかを選んで 💩 を押す

- USBメモリーにファイルが無い場合は、[選択したファイル形式のファイルが存在しません。]と表示されます。
 - プレイリストグループ内での動画 / 写真 / 音楽のファイル混成はできません。
- 確認画面が表示されるので、 🚳 を押す

3

再生する順にファイルを選択する

- 最大30のファイルを選択することができます。
- ファイルを選択しなおす場合は、リストにファイルを追加、リストからファイルを消去、 再生順変更を選んで、変更することができます。

5 ▲·▼· ◀·▶ で決定を選んで、 ●を押す

プレイリスト名の編集確認画面が表示されるので、▲·▼ ではいを選んで、 ● を押す

いいえを選択した場合は、「プレイリスト名」が自動的に決まります。

入力画面が表示されるので、プレイリスト名を入力して、 🔤 を押す

文字入力のしかた P.68

- 文字数は全角20文字まで入力されます。全角20文字以上の文字入力は、無効となりますので、 ご注意ください。
- 未入力で 👛 を押すと、メッセージが表示されます。
- 作成されたプレイリストはスケジュール再生の設定ができるようになります。 P.33

32

プレイリスト名を消去する

「プレイリスト再生」を表示中に、消去するプレイリスト名を選んで 🧰 を押す • 確認画面が表示されるので、はいを選んで 🎰 を押してください。



本機でできること

画面表示を確認する

現在視聴している動画名、外部入力の種類、映像や音声の種類、現在時刻などを確認できます。

画家を 押す

- 押すごとに次のように切り換わります。
- ▷ USBメモリーのデータを再生している とき



- ホームネットワークのデータを再生して いるとき (1) 2 (4) 3 ※この画面を表示中に約4秒間放置すると、 自動的に画面表示が消えます。 (9) 5 6 $\overline{0}8$ チャプタ ģ 1 ີ່ (12) (13) **•** (9) 1 (III) (12) (13) 再生中の動画 データの種類/ ⑧ リピートの設定状態 データのチャンネル番号 (リピートの対象を 表示) データの放送局名 9 動作状態 ③データ 10 再生時間 ④ データの作成日時 ① タイムバー ⑤ 現在のチャプター番号/ 総チャプター数 (再生位置の目安) ⑥ データを保存している 12 操作ガイド メディアの種類 13 総再生時間 ⑦ リピートアイコン (リピート設定中のみ) 6) 音声の種類
- ② 水平周波数 / 垂直周波数 ③外部入力の種類 ④ HDRアイコン(信号受信時のみ)
- ⑥ カラーフォーマット
 - ⑦ 色深度*
- ※カラーフォーマットがYUV422の時は色深度は表示されま せん。

34

メニューを使う

現在視聴している画面に対して、各種設定の変更ができます。

|メニュー を押す

• 映像モード

※映像モードは、 学を押して表示することもできます。 5つの映像モードから選ぶことができます。 P.53

• 音声モード

※音声モードは、 第七半を押して表示することもできます。 映像に合った音質の設定を4つのモードの中から選ぶことができます。 256

音声切換

動画を見るときに操作可能です。動画の音声には二重音声(二カ国語)・ステレオ・サラウンドなどがあり、 自動的に切り換わります。 二重音声(二カ国語)の動画や音声信号が複数ある場合は、お好みに合わせて切り換えることができます。

字幕切換

※字幕切換はメニューの表示形式が**[縦置き]**の場合は、設定できません。 視聴している動画の種類によっては、字幕が表示できるようになっています。 本機では、字幕の表示/非表示や言語を設定できます。

• 画面サイズ

ヘッドホン音量

ヘッドホンから出力される音量が調節できます。P.38

● 予約タイマー

自動的に本機の電源をオンにすることができます。 P.38

- 電源オフタイマー
 自動的に本機の電源をオフにすることができます。
- 消画 音声を出力したまま、画面の映像を表示しないように設定できます。 P.40
- リンクメニュー
 HDMI-CEC対応機器を操作することができます。 P.41
- 対応信号フォーマット 接続されたHDMI機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。 2.60
- 時計

※時計は、
できます。
現在時刻の表示/非表示を切り換えることができます。

• リピート

※リピートは、 ● を押して表示することもできます。 メディア再生のリピート設定ができます。 P.28

• サーチ

再生するチャプターや時間などを指定し、見たい場面にとばして再生することができます。 223

● 表示間隔

※表示間隔は、 ☆ を押して表示することもできます。 写真のスライド時間を変更できます。 ₽.30

画面サイズを選ぶ

映像に合わせた画面サイズを選べます。選べる画面サイズは、見ている動画の種類によって異なります。

画サイズを 押す

- 項目を選んで 跳 を押して切り換えることもできます。 切り換わる画面モードの種類は、標準映像とハイビジョン映像、4K映像とで異なります。

▶画面サイズについて

ノーマル

4:3の画面サイズで 見る

構と縦の比が4:3の映像に切り換 わります。



ダイナミック

4:3の映像を ワイド画面で見る

スポーツの動画を見るときなど、 臨場感が増して迫力ある映像を楽 しめます。 画面左右を拡大して、画面いっぱ

4:3映像で左右の黒帯が気になるときにも使います。

- ●画面左右の映像が少し横に広がります。
- ●画面上下の映像が少し外にはみ出します。

シネマ

いに表示します。

劇場サイズの 映画・ビデオを見る

のもあります。

劇場サイズの映像を、画面いっぱ いに拡大して見ることができます。

●映像の上下の黒い帯が残るも



字幕付劇場サイズの 映画・ビデオを見る 字幕の部分を縦方向(上)にずらし て画面の中に入れ、画面いっぱい に拡大して見ることができます。



フル

4K映像やハイビジョン 動画、DVDなどのスク イーズ16:9映像を見る 画面いっぱいに拡大して見ること

ができます。



●4:3の映像では、映像全体が横 に広がります。

フルピクセル/ドットバイドット

4K映像やハイビジョン 動画、パソコンなどの映 像を画素変換せずに 見る

画面からはみ出した部分がなく、映 像信号をすべて画面内に表示しま

す。画素変換をおこなわないので入力信号そのままの映像となります。

●入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。

ご注意

● 本機は、各種の画面サイズ切換機能を備えています。再生する動画の映像比率と異なるモードを選択すると、オリジ ナルの映像とは見えかたに差が出ます この点にご留意のうえ、画面サイズをお選びください。

● ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切換 機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどをおこなうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する 恐れがありますので、ご注意ください。


ビデオ、DVDなどの場合



各画面サイズの特徴は「画面サイズについて」をご覧ください。 P.36

ブルーレイディスクなどの場合





各画面サイズの特徴は「画面サイズについて」をご覧ください。 P.36

4K映像(4K動画およびUltra HDブルー レイ)の場合



パソコン映像の場合



(パンコンからの入力解像度が1024×768の場合) ※他の解像度の場合は、各画面サイズの表示が異なります。 各画面サイズの特徴は「画面サイズについて」をご覧ください。 P.36

ヘッドホン音量を変更する

ヘッドホンから出力される音量が調節できます。

音量を調節する際には、ヘッドホンを本機に挿入していることを確認してください。 [ヘッドホン時のスピーカー出力]が[連動しない]のときは、[メニュー]の[ヘッドホン音量]で調節してくだ さい。



• スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ [0] から [60] まで個別に調節することができます。

自動的に電源をオンまたはスケジュール再生を開始する (予約タイマー)

自動的に本機の電源をオンにすることができます。また、予約タイマーを使う曜日と時刻や、電源をオンに したときに選ばれる外部入力やプレイリストと音量を設定できます。最大20件まで登録できます。 スケジュール再生とは、プレイリストを指定時刻に自動再生することができる機能です。予約タイマーの 入力から自動再生させたいプレイリストを選択することができます。プレイリストはあらかじめ作成しておく 必要があります。 P.32

💶 を押し、 予約タイマー を選んで 🚳 を押す

予約タイマー					2000年100月20日(火)午餐	EXC:XX
	第1日	開始時間	終了時間	音量		
			午前 07:20			
	毎日		午前 07:50			
			午前 08:20			
			午前 08:50			
	毎日					
	🧮 設定消去					

 予約タイマーは、ホーム → 再生をする →
 予約タイマーを選んで ∞ を押して 表示することもできます。

2

新規設定画面の[入/切]へ移動して、
 入を選ぶ

- ① [曜日]へ移動して、予約日を選ぶ
 - 毎日、<u>火~土、月~土、月~金、毎週日</u>~毎週土を選択することができます。
 - お買い上げ時は毎日に設定されています。
- ② [開始時間]へ移動して、時刻を選ぶ
 - お買い上げ時は 午前07:00 に設定されています。
 - 昼の12時は<u>午後00:00</u>に、夜の12時は<u>午前00:00</u>に合わせます。

自動で電源オフにする時間を選ぶ

- ① [終了時間]へ移動して、自動で電源オフにする時間を選ぶ
 - お買い上げ時は午後07:00 に設定されています。
 - 昼の12時は 午後00:00 に、夜の12時は 午前00:00 に合わせます。

4

お知らせ

- ① [音量]へ移動して、音量を選ぶ
 - お買い上げ時は20に設定されています。

プレイリスト再生で作成されたプレイリスト名または外部入力の種類を選ぶ

- 【入力】へ移動して、プレイリスト名または外部入力の種類を選ぶ
 - 選択できる外部入力はHDMI(1~3)またはビデオです。
 - ●新規予約時、【入/切】設定を入で予約タイマーを登録する場合、または既存の予約タイマーの【入/切】設定を切から入に変更した場合、確認画面ではいを選び ●を押した後、以下のメッセージ画面が表示され、もう一度 または を押すと予約タイマー画面に戻ります。



- 設定した予約タイマーを選んで 響を押すと、設定を変更できます。
- 👛 を押し、はいを選んで 📾 を押すと、設定した予約タイマーを消去できます。
- 予約タイマーを設定後は、電源プラグを抜かないでください。電源をオフにするときは電源ボタンを押してください。
- 一部特定の画面表示中は、予約タイマーの「終了時間」になっても、自動電源オフ機能は実行できません。
- 日時を設定できていない場合は「予約タイマー」は選択できません。
- 予約タイマーの開始時間までに電源をオフにしてください。開始時間に電源がオンになっていると、予約タイマー機能は無効となります。
- 予約タイマーが途中で中断されていても、予約タイマーで設定した終了時間に達すると、自動的に電源をオフします。
- 予約タイマー実行中に、電源オフタイマーを設定した場合、終了時間の早い方に合わせて自動的に電源がオフになります。

本機でできること(つづき)

自動的に電源をオフにする(電源オフタイマー)

自動的に本機の電源をオフにすることができます。

🗵 を押し、 電源オフタイマー を選んで 📾 を押す ●● で設定する時間を選び、 📾 を押す 電源オフタイマー - 120分 切 30分 60分 Ł - 120分 - 90分 表示が消えて、電源オフタイマーがスタートします。 ▶ 電源オフタイマーを取り消したいときは ● で切を選び、速を押す ▶設定後に電源がオフになるまでの時間を確認したいときは メニュー を押し、電源オフタイマーを選んで 👐 を押す 現在設定している電源オフタイマーの時間が表示されます。 ◀・▶ を押すと、電源オフタイマーが設定しなおされます。 ▶ 電源が切れる1分前になると 「電源オフタイマー1分前」の表示が出ます。 一度電源が切れると、電源オフタイマーは無効となります。 お知らせ 予約タイマー実行中に、電源オフタイマーを設定した場合、終了時間の早い方に合わせて自動的に電源がオフになり

映像を非表示にする(消画)

ます。

音声を出力したまま、画面の映像を表示しないように設定できます。音楽鑑賞を楽しむときなどに便利です。

外部入力の映像やメディア再生中に 💶 を押し、 🎢画 を選んで 🚳 を押す

・ 「消画]のまま、 で音量を調節できます。
 ・ 以外のボタンで[消画]を解除できます。
 ・ 「消画]の間は、[電源LED]を「切」にした状態でも、電源LEDは青点灯します。

現在時刻を表示する

現在時刻の表示/非表示を切り換えることができます。

◎を押す

● 💶 ➡ 時計を選んで 🐲 を押して表示することもできます。

午後 10:22

外部入力に切り換えたときやホーム画面を表示している間は、時刻表示が一時的に非表示になります。

40

HDMI-CEC対応機器を操作する

HDMI機器連動機能とは、HDMIで規格化されているAVアンプやBDレコーダーなどを制御するための機能で、 HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器間をHDMIケーブルで接続することに より、相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

HDMI-CECに対応したAVアンプやBDレコーダーを本機のHDMI入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作(再生など)ができます。

HDMI-CEC対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。(仕様は予告なく変更することがあります。)

▷ 本機でHDMI-CEC機能を使うには

本 機… ホーム → 設定する → 機能設定 → 接続機器設定 → HDMI機器連動設定 → HDMI機器連動を入に設定しておいてください。くわしくは「HDMI-CECを設定する」をご覧 ください。 P.59

[接続機器]…接続機器側のHDMI-CEC設定を入にします。くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI-CEC対応機器の操作のしかた

リンク を押す ● メニュー → リンクメニュー を選んで を押して表示することもできます。

操作したい項目を選んで 💩 を押す

リンクメニュー 機能一覧 コンテンツ一覧

ドライブ切換 番組録画

録画機器選択 雷源オフ

スピーカー出力

録画停止

▶ リンクメニューについて

- 機能一覧
 接続機器の設定などをおこなう画面を表示します。
- コンテンツー覧
 接続機器の「録画リスト画面」などを表示します。 P.44
- サブメニュー
 接続機器の「サブメニュー画面」などを表示します。
 ※接続機器によっては、操作ができない場合があります。
- ドライブ切換
 接続機器が複数の記録媒体を持つ場合は、再生や録画をする媒体を切り換えます。
- 番組録画 接続機器(レコーダー)で録画開始します。P.43
- 録画停止
 番組録画を停止します。P.43
- 録画機器選択 録画する録画先のBDレコーダーを選択します。
- **電源オフ** 本機のリモコンで接続機器の電源をオフにします。 **P.42**
- スピーカー出力
 本機のリモコンで、対応するAVアンプの音量を調節できます。 P.42

41

HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する



接続機器の電源をオフにする



電源オフを選んで 🐢 を押す

● HDMI-CEC 対応機器の電源がオフになります。



2

▶ [設定する] → [機能設定] → [接続機器設定] → [HDMI連動機器設定] → [HDMI機器の自動電源

 オフ] を [入] にした状態で、本機と接続機器の電源がオンのときに

 さ を押すと、本機と接続機器の電源がすンのときに

接続機器に連動して本機の電源をオンにする

- ▶ ホーム ➡ [設定する] ➡ [機能設定] ➡ [接続機器設定] ➡ [HDMI機器連動設定] ➡ [ディスプレイの 自動電源オン]を[入]にした状態で、本機の電源をオンにしていないときにブルーレイディスクレコー ダーなどの接続機器でディスクの再生を開始する
 - 本機の電源が自動的にオンになり、接続機器を接続している外部入力に本機の入力切換が切り換わります。
 - 本機の電源がオンしていない状態で、接続機器の電源をオンした場合でも、連動して本機の電源がオンになります。

視聴中の映像を接続機器(レコーダー)で録る



- 複数のレコーダーを接続している場合は、あらかじめ[録画機器選択]で録画する機器を選択してください。
- **ご注意** BS4K·CS4K番組は録画できません。

録画を停止したいときは

- リンクを押す
 - 🗵 🚽 🕩 リンクメニューを選んで 🐲 を押して表示することもできます。

2 録画停止を選んで 🗠 を押す

 ・ HDMI-CEC機能は、HDMI-CEC対応機器にて使用可能です。各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。仕様は 予告なく変更することがあります。
 ・ レコーダー側のチューナー(HDMI)でデジタル放送を見ているときは、レコーダーが選局している番組をそのまま録 画します。レコーダーの録画ボタンを押した場合と同じ動作となります。
 ・ 録画モード(画質)は、レコーダー側で設定しているモードになります。くわしくはレコーダーの取扱説明書をご覧く ださい。
 ・ レコーダーの番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。 レコーダー購入直後などはレコーダーの番組表が利用できるように番組情報を受信してからご使用ください。
 ・ 契約が必要なチャンネルの番組を録画するときは、レコーダー側が契約済である必要があります。



[拡張]に設定した場合は、上記に加え以下のボタンが利用できるようになります。

画面表示

[無効]で、リモコンで操作したときにHDMI-CEC対応機器側の操作をしません。

• 接続する機器によっては、一部の操作ができない場合があります。

ネットワークをつなぐ

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続方法が異なります。 以下を確認しながら正しく接続してください。

LANケーブルを使って接続する



無線LANを使って接続する

無線LANを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。



※2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。 ※5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

▷ ネットワーク接続環境

- 本機は、公衆無線LAN接続には対応しておりません。
- 11acまたは11n方式での接続を推奨します。
 通信速度が十分でない場合は、ホームネット ワークの映像が途切れることがあります。

▶ 用語と商標について

 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が 商標および登録商標として使用している場合 があります。

▷ 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。
 - すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会 IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、 表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、 表示や通信にエラーが発生したりすることがあ ります。

すべての動作を保証するものではありません。

- プロバイダー(インターネット接続事業者)側の 設定や制限によっては、本機能の一部が使用で きない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約 費用および通信に使用される通信費用は、お客 様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に、1000Base-T/100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止 あるいは制限している場合があります。
 くわしくはご契約のプロバイダーへお問い合わ せください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 使用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- ネットワーク接続の動作環境は、予告なく変更 される場合があります。また、すべての動作を 保証するものではありません。

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、 誤用、その他の異常な条件下での使用によって 生じた障害に関して、当社は一切の責任を負い ません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随 的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録 内容の変化・消失、インターネット契約料金・通 信費用の損失など)に関して、当社は一切責任 を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた 損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組合 わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じ た損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の 補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を 負いません。
- すでにブロードバンド常時接続環境をお 持ちの場合は
 - 次のことをご確認ください。
 - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と 事項
 - 必要な機器の準備
 - ADSLモデムやブロードバンドルーターなど の接続と設定
 - 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
 ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
 - お使いのモデムやブロードバンドルーター、 ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。



ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、ホーム → [設定する] →
[ネットワーク設定] → [ネットワーク接続設定] → [ネットワーク接続状態] → [次ページ] で確認できます。
 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
- ADSL回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、
 ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。
 - USB接続のADSLモデムなどをお使いの 場合は、ADSL事業者にご相談ください。
 - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロード バンドルーターなどの組合わせによっては、
 本機と接続できない場合や追加契約などが 必要になる場合があります。
 - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーへお問い合わせください。
 - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者へお問い合わせください。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイ ダーや回線事業者にお問い合わせください。

ご注意

LANケーブルは、カテゴリー5e以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

ネットワークをつなぐ(つづき)

ネットワーク接続の設定をする



有線LANを自動で設定する

各項目を自動で設定し、接続確認をおこないます。また、すでに設定していた場合は、設定値が自動で取得した 値に更新されます。(このときプロキシサーバーの設定はクリアされます。)

<u>有線LAN</u>を選んで 📾 を押す

- 自動的に各項目が設定され、有線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、 🗫 を押してください。

有線LANを手動で設定する

☞→」を押して、設定する 🔿 ネットワーク設定を選んで 💩 を押す

ク ネットワーク接続設定 → IPアドレス / DNS 設定 を選んで ● を押す

IPアドレス設定

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

① IPアドレス 設定を選んで 🝩 を押す

② 設定方法を選んで 💀 を押す

● ルーターにDHCP機能がない場合などは、手動を選んで設定してください。

- 自動取得を選んだときは ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にIPアドレス/サブネットマスク/デフォルト ゲートウェイを設定します。
- ▶ 手動を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

IPアドレス	パソコンなど、すでにネットワーク接続している機器で設定しているIPアドレスの最後の2桁を、他のネットワーク機器と重複していない数値に変更し入力してください。 (3桁まで入力可能です。)例えば、パソコンのIPアドレスが「192.168.xxx.x10」の場合は、 「192.168.xxx.x11」などを入力してください。
サブネットマスク	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	パソコンなどの機器と同じ数値を入力してください。

DNS設定

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

DNS 設定を選んで 📾 を押す

② 設定方法を選んで 🛤 を押す

● ルーターにDHCP機能がない場合などは、手動を選んで設定してください。

▶ 自動取得を選んだときは

ルーターやプロバイダーのDHCP機能を使って自動的にプライマリDNS/セカンダリDNSを設定します。

▶ 手動を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

プライマリDNS	パソコンなどの機器の優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
セカンダリDNS	パソコンなどの機器の代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシサーバー設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシサーバー設定をしてください。

- ① プロキシサーバー設定を選んで 🗫 を押す
- ② 設定方法を選んで 💵 を押す
 - ▶ 有効を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

文字入力のしかた P.68

- 設定が終わったら、手順3に進んでください。
- 「無効を選んだときは 手順子に進んでください。

次ページへつづく 🌔

ネットワークをつなぐ(つづき)

接続確認 を選んで 📟 を押す 3

- 確認画面が表示されるので、 me を押してください。
- 設定が終わったら、 戻る を複数回押すと、再生画面に戻ります。
 - ▶接続テストでエラーメッセージが表示されたときは

画面の指示に従ってネットワークの設定をしなおしてください。

● パソコンなどの機器で設定している「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリ DNS |、「セカンダリDNS |の確認方法についてくわしくはご使用のパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

無線LANを設定する

お知らせ

- 無線LANをお使いになるときは、ルーターなどの接続先機器はセキュリティなどで暗号化してお使い ください。
 - 暗号化していないと、第三者に不正アクヤスされ情報漏えいの恐れがあります。

■無線LANネットワークで、ルーターなどの接続先機器のセキュリティを設定していない場合は、以下の 機能はお使いになれません。

ホームネットワーク

|無線LAN|を選んで 📾 を押す

無線LAN自動検出

本機が利用可能な無線LAN アクセスポイントを検出して、設定します。 接続するルーターのSSID と暗号化キーをご用意ください。

① 検出された無線LANアクセスポイントから、接続したいルーターのSSIDを選ん で 🐭 を押す

● 接続したいルーターのSSIDが見つからない場合は、 → で再検出できます。

- ② 暗号化キーを入力し、 📲 を押す
 - 確認画面が表示されるので、次へを選んで∞を押してください。
 - 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります(「KEY」、「セキュリティーキー」など)。
 数字入力の場合は、 で入力モードを切り換えてください。
- ③ 接続を選んで 📾 を押す
 - ▶ 自動設定を選んだときは

[通信設定]の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので ∞を押してください。

▶ 手動設定を選んだときは

IPアドレス、DNS、プロキシサーバーを設定してください。くわしくは「有線LANを手動で設定する | P.49)をご覧 ください。

かんたん設定

プッシュボタン方式でかんたんに無線LANを設定できます。

① 🛑 を押す

画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、
 のを押してください。





ご注意 ● 接続テストで 💷 ──── 🗊 ──── 🞯 が表示されていれば接続は成功しています。



ディスプレイ名を設定する

ネットワーク上で表示される本機の名前を設定します。



画質を設定する

2

画質をお好みの設定にしたいときに調整します。

1	ホームを押し	て、 <mark>設定す</mark>	3 →	機能設定	⇒	画質設定	を選んで(●を押す	
- T	機能設定								
	 置貸録定 音声応定 省工未設定 省工未設定 規設定 規構建定 規構建度 提載機構設定 録節/用生設定 その他の設定 初期化 	映像モード 明るさ 色の激さ 色温度 シォープネス 詳細問整 氏モード 様率に戻す							



※映像モードは、 響または === → 映像モードを選んで ●を押して表示することもできます。

ダイナミック	色鮮やかでコントラストを強調した映像モードです。 明るい環境での視聴やスポーツ鑑賞にも適しています。
スタンダード	消費電力を抑制した標準的な画質の映像モードです。
ナチュラル	自然な画質の映像モードです。Webの閲覧や動画視聴に適しています。
ゲーム	ゲームに最適な映像モードです。
写真	写真の表示に適した映像モードです。

■明るさ※1/色の濃さ/色温度/ブルーリダクション※2/シャープネス

※1 明るさは、 (+ / −)を押して表示することもできます。
 ※2 ブルーリダクションは、 を押して表示することもできます。

明るさ	画面全体の明るさを [0]~[30] の値で調整します。 設定値を下げることで消費電力も下がります。
色の濃さ	色の濃淡を [0]~[100] の値で調整します。 自然な色にするときは、やや薄めに設定します。
色温度	色調を [低]、[中]、[高1]、[高2] の値で調整します。 「低」にするほど温かみのある色調となり、「高」にするほど明るく活動的な 色調となります。
ブルーリダクション	目の疲れの原因とされる、画面からの光に含まれるブルーライトを [切] 、 [弱2]、[弱1]、[中]、[強1]、[強2] の値で調整します。 「高」にするほど光に含まれるブルーライトが減少します。
シャープネス	映像のくっきり感を [0]~[10] の値で調整します。 設定値を上げるとメリハリのある映像、設定値を下げるとやわらかい映像 になります。

■ 詳細調整

	明るさ	画面全体の明るさを [0] ~ [30] の値で調節します。 設定値を下げることで消費電力も下がります。								
	コントラスト	[0]~[100]の値で設定します。 映像の白い部分の明るさを調整します。明るい部分が白飛びし細部が潰れ る場合は、設定値を下げます。								
	黒レベル	[-50]~[+50]の値で設定します。 映像の暗い部分の明るさを調整します。暗い部分が見えにくい場合は、設 定値を上げます。								
	ガンマ調整	[暗い]、[少し暗し 映像の階調を調	[暗い]、[少し暗い]、[ふつう]、[少し明るい]、[明るい]の値で設定します。 映像の階調を調整します。							
明るさ調整	コントラスト 自動補正	[切]、[弱]、[中] 映像に応じて、明 になる場合は「む	、 [強] の値で設定し 映像のコントラスト感 刃」にしてください。	ます。 惑を自動的に調整します。映像が不自然						
	黒補正	[切]、[弱]、[中] 中間よりも暗い	、[強] の値で設定し 部分の階調を高める	ます。 て濃淡を強調する調整をします。						
	HDR復元	[切]、[弱]、[中] 明るさの領域を [切]にしてくださ	【切】、【弱】、【中】、【強】の値で設定します。 明るさの領域を復元し、鮮明な映像にします。映像が不自然になる場合は 【切】にしてください。							
	HDRガンマ 調整	[-2]~[+2]の(HDR映像の輝度	直で設定します。 を調整します。階調を	重視する場合は設定値を下げてください。						
	HLG明るさ	入	入 HDR映像の輝度を強調します。							
	強調	切 明るい部分が白飛びし細部が潰れる場合は [切] にしてく ださい。								
		色調を [低]、[中]、[高1]、[高2] の値で調節します。 室内昭明などの視聴環境に合わせてお好みの色調に設定します。								
			Rゲイン	映像の明るい部分の赤色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
			Gゲイン	映像の明るい部分の緑色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
			Bゲイン	映像の明るい部分の青色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
			Rオフセット	映像の暗い部分の赤色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
	色温度	二米 400 二日 古行	Gオフセット	映像の暗い部分の緑色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
色彩調整		詳細調整 	Bオフセット	映像の暗い部分の青色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
			Rゲイン	映像の明るい部分の赤色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
			Rゲイン	映像の明るい部分の赤色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
			Rゲイン	映像の明るい部分の赤色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
			Rゲイン	映像の明るい部分の赤色を [-60]~[+60]の範囲で設定します。						
	色の濃さ	色の濃淡を [0] 薄めに設定しま 数値が大きくなる	~[100]の値で調 す。 ると色が濃くなります	節します。自然な色にするときは、やや す。数値が小さくなると色が薄くなります。						

	色あい	色あいを [-50]~[+50] の値で調節します。肌色をお好みに合わせて設定します。数値が大きくなると肌色が緑がかります。数値が小さくなると肌色が紫がかります。						
	白強調	強 中 弱	強 中 白やグレーの部分を強調します。 弱					
		切	切 映像が不自然になる場合は[切]にしてください。					
色彩調整	色域 マッピング	[自動] 、[広色域 色の再現範囲を	自動]、[広色域]、[標準] の値で設定します。 らの再現範囲を設定します。					
	色あざやか	入	入力信号に適切な処理をおこなって色鮮やかにします。					
	補正	切	映像が不自然にな	る場合は「切」にしてください。				
		赤色/ 黄色/ 緑色/	色あい	[-63]~[+63]の値で設定します。 設定画面、左右のカラーサンプル(色 付きの線)を参考に調整ができます。				
	色詳細調整	 シアン色/ 青色/ マゼンタ色 の詳細調整 	鮮やかさ/ 明るさ	[-30]~[+30]の値で設定します。 設定画面、左右のカラーサンプル(色 付きの線)を参考に調整ができます。				
	シャープネス	[0]~[10]の値で設定します。 数値が大きくなるとよりくっきりします。数値が小さくなるとよりやわらかく なります。						
	超解像※1	[切]、[弱]、[中]、[強]の値で設定します。見た目の解像度を上げ、精細な映像にします。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。						
精細感調整	階調補正	[切]、[弱]、[中]、[強]の値で設定します。 暗い部分から明るい部分へのグラデーションや微細な質感が表現されるように補正します。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。						
	ノイズ低減	[自動]、[切]、[弱]、[中]、[強]の値で設定します。 映像にのった微細なノイズを減らします。[自動]に設定すると、映像に合わ せてノイズを軽減します。						
	ブロックノイズ 低減	[切]、[弱]、[中]、[強]の値で設定します。外部入力データのブロック状のノ イズと輪郭部分に現れるモスキートノイズを軽減します。						
	倍速駆動	[弱]、[中]、[強]、[ユーザー]の値で設定します。 動きの速い映像で出る残像感を軽減し、なめらかに表示します。 映像が不自然になる場合は[切]にしてください。						
倍迟駆動 調整	残像感	[0]~[10]の値 す。設定値を上げ	『で設定します。毎秒 げると残像感を軽減	060コマの映像の残像感を調整しまします。				
	なめらかさ	[0]~[10]の値 かさを調整します	iで設定します。映画 す。	面などのコマ数の少ない映像のなめら				
くっきり吨色	入	明るさを制御し、	残像感を軽減する	ことで映像をよりくっきりさせます。				
	切	明るさを優先す	る場合は [切] にして	ください。				
フィルム	自動	映画フィルム本著	来の映像の美しさを	忠実に再現します。				
モード	切	映像が不自然に	なる場合は [切] にし	ってください。				

※1 超解像は、超解像を押して表示することもできます。

■ 標準に戻す

はい	選択中の映像モードの設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。
いいえ	各項目の設定値を保持します。

設定が終わったら、ホームを押してください。



音声をお好みの設定にしたいときに調整します。

1	☞ あんせい あんせい あんし ひんし しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	て、 <mark>設定す</mark> る	る ➡ 機能設定	∃ →	音声設定	を選んで	🔊 を押す	F
	機能設定							



映像モード連動	映像モードに合わせて最適な音質に設定します。			
スタンダード	標準的な音質です。			
ダイナミック	臨場感と迫力ある音質です。			
音声アシスト	音声を聞き取りやすくした音質です。※			

※ 違和感がある場合は、他のモードをお選びください。

■ 詳細調整

イコライザー	[-10]~[+10]の値で周波数帯域ごとの音質を調整します。				
左右バランス	[-6]~[+6]の値でスピーカーの左右バランス音量を調整します。				
	強				
サラウンド	弱	サフリント設定をします。臨場感めいれるサフリント効果 を楽しめます。			
	切				
重 低 辛 举 锢	入				
里心白浊神	切				
けっきり辛吉	入	[入]で、声やセリフの部分をはっきり聞こえるように強調			
はしこう目中	切	します。			
ぴったり辛旱	入	[入]で、CMや動画の切り替わりなど、音量が大きく変わ			
しつにり目里	切	るシーンにおいて音量の変化を自動的に調整します。			
標準に戻す	はい	選択中の音声モードの音質設定項目をお買い上げ時の 状態に戻します。			
	いいえ	各項目の設定値を保持します。			

■ デジタル音声出力

デジタル音声出力	[PCM]	音声形式をリニアPCMに変換して出力します。 [自動] を 選択したときにオーディオ機器が音声を出力しない場合 に設定してください。
	[自動]	ドルビーオーディオまたはリニアPCMに変換して出力します。

■ スピーカー出力

ディスプレイスピーカー	スピーカーから音声を出力します。
外部音声機器	スピーカーから音声を出力しません。ヘッドホンからは音声を出力可能です。

■ ヘッドホン端子設定

	ヘッドホン	ヘッドホン/音声出力端子に接続する機器に設定します。
出力設定	外部スピーカー	[外部スピーカー]は[ヘッドホン]より大音量になること があります。
へいにすい時の	連動する	ヘッドホンを接続したときは、スピーカーから音声を出力 しません。
スピーカー出力	連動しない	ヘッドホンを接続したときは、スピーカーから音声を出力 します。ヘッドホンの音量は、【メニュー】の【ヘッドホン音 量】から調整できます。
外部スピーカー	固定	出力レベルを固定にします。
出力設定	可変	本機の音量レベルに連動します。

• 設定が終わったら、ホームを押してください。

お知らせ ● [音声モード]が[映像モード連動]または[音声アシスト]の場合は、[詳細調整]はできません。

● ヘッドホン端子設定では、音声の出力方法や外部スピーカー出力の設定、また、ヘッドホン使用中にスピーカーから同時に音声を出力するかを切り換えることもできます。

 ・音声モードの設定は、[ヘッドホン時のスピーカー出力]を[連動しない]に設定しているとき、ヘッドホンへの音声出力にははたらきません。
 (本機のスピーカーから出力される音声にのみ反映されます。)

音声モードは、各入力ごとに選ぶことができます。



いろいろな節電の設定をします。

	して、設定す	する 🔶	機能設定	→ 省	エネ設定 <mark>ス</mark>	を選んで(☞ を押す
画質設定 音声設定 省本設定 省工ネ設定 その他の設定 その他の設定 初期化							

2	設定項目を選んで 🚳 を押す			
	ECO モード [入]で、画面の明るさを抑え、消費電力を削減します。			
	無信号電源オフ	[入]で、ディスプレイの消し忘れを防ぎます。映像信号がなくなった状態で約10秒経つと、自動的に電源がオフになります。ただし、映像信号が復帰すると、自動的に電源をオンにします。		
	明るさセンサー	[入]で、お部屋の明るさに応じて、自動で画面の明るさを抑え、消費電力も 節約します。		

設定が終わったら、ホームを押してください。

⑦知らせ ● [明るさセンサー]を[入]に設定しているときは、部屋の照明が安定し、明るさセンサー受光部が遮断されていないことをご確認ください。 P.12

接続機器設定をする

HDMI-CECを設定する

 ★ 「ホーム」を押して、設定する → 機能設定 → 接続機器設定 → HDMI機器連動設定 を選んで ● を押す

3

お知らせ

ご注意

設定を選んで 💩 を押す

HDMI機器連動	HDMI-CEC対応機器を接続したときは [入] を選んでください。
HDMI機器の自動電源オフ	[入]で、ディスプレイの電源をオフにすると、HDMI-CEC対応機器の電源 も連動してオフになります。
ディスプレイの自動電源オン	[入]で、HDMI-CEC対応機器の電源をオンにすると、ディスプレイの電源 も連動してオンになります。
映像信号検出	視聴中の映像信号が検出されなくなった場合に、HDMI入力に接続されている他の接続機器からの映像信号が検出されれば、自動的に切り換える設定をします。 [自動(高速)]:映像が入力されている他の端子へ自動的に切り替わります。 [自動]:自動(高速)でうまく切り替わらない場合にお使いください。 [手動]:現在の端子の映像が復帰するまで待機状態になります。

- 設定が終わったら、ホームを押してください。
- 設定を有効にするために、 電源 を押して、電源をオンにしなおしてください。

本機のHDMI-CEC機能を使用するには、接続された機器がHDMI-CECに対応している必要があります。 機器により仕様が異なる場合があります。くわしくはHDMI-CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル音声をARCで出力するには、[HDMi機器連動]を[入]にしてください。ARCを使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

● HDMI-CEC機能を中止するために[HDMI機器連動]を[切]にした場合は、本機の電源をオンにしなおしてください。

HDMI信号フォーマットを設定する

接続されたHDMI 機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。



2 HDMI 1 ~ HDMI 3 から設定を変更したいHDMI 端子を選んで ∞ を押す



かんたん一括設定で再設定する

ディスプレイを見るために必要な設定がかんたんにできます。

かんたん一括設定を表示する

[ホーム]を押して、設定する ➡ かんたん一括設定を選んで	速 を押す
🧭 かんたん一括設定	
クイック紀動の設定をしてください。	
λ t]	
[辺] よりも電源オフ時の消費電力が増加しますが、起動時間が短くなります。 戻る	

「かんたん一括設定」をおこなう223

自己診断機能について

本機の主な機能の動作確認は、【自己診断機能】メニューで確認することができます。

自己診断機能を使う

📧 🚛 を押して、 設定する を選んで 👳 を押す

自己診断機能を選んで 📾 を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで 🚳 を押してください。
- 自己診断機能の項目選択画面に進みます。

自己診断機能の項目と診断内容

本機の主な機能の診断をしたり、USB 機器の情報を表示したりすることができます。

本体診断

2

本機の主な機能の診断をおこないます。

本体を選んで 📾 を押す

確認したい診断項目を選んで 💩 を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで 💩 を押してください。
- 診断後、[結果]に[詳細を確認してください。]と表示された[項目]を確認する場合は、[項目] を選んで を押すと表示される詳細画面で[結果]と[対処方法]をご確認ください。
- を押すと前の画面に戻ります。
- 診断が終わったら、 を複数回押すと再生画面に戻ります。

▷ 全機能診断

2

[本体] 画面に表示されている [項目] すべての診断をおこないます。

診断が終わるまでしばらく時間がかかることがあります。(最大約3分)

▶ネットワーク

ネットワークの診断をおこないます。

▶ 準備

本機とネットワークを接続しておく P.45

► HDMI-CEC

HDMI-CECの診断をおこないます。

- ▶ 準備
 - 本機とHDMI-CEC対応機器をハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく P.19
 - [ホーム] → [設定する] → [機能設定] → [接続機器設定] → [HDMI機器連動]を[入]に設定しておく
 P.59
- ■以下の場合は、正しく診断することができません。
 - 接続機器がHDMI-CECに対応していない場合
 - 本機と接続機器をHDMIケーブルで接続していない場合
 - ・ 接続機器側の HDMI-CEC 設定が有効になっていない場合

ご注意 ● HDMIケーブルは付属しておりません。市販品のハイスピード対応HDMIケーブルをご準備ください。

▶USBメモリー

USBメモリーの診断をおこないます。

- ▶ 準備
 - 本機のUSB1メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2メディア再生用(USBメモリー用) 端子に、USBメモリーを接続しておく P.27
- ■本機とUSBメモリーを接続していない場合は、正しく診断することができません。

USBメモリー

本機に接続しているUSBメモリーの情報を表示します。

▶ 準備

- 本機のUSB1メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2メディア再生用(USBメモリー用)端子に、USBメモリーを接続しておく P27
 - USB メモリー を選んで 🗠 を押す

🔰 開始 が選ばれているので 💵 を押す

- 読み込み完了後、USBメモリー情報が表示されます。
- を押すと前の画面に戻ります。

■ USBメモリーは常に1つしか認識できない為、接続しているUSBメモリー以外を認識させる(診断対象とする)には、 ー旦接続されているUSBメモリーをすべて抜き、改めて診断したいUSBを接続する必要があります。

ご注意 ● [自己診断機能]では、すべての故障を診断できるわけではありません。

その他の設定をする

いろいろな機能を使うための設定をします。

その他の設定の表示のしかた

1	(ホーム)を押して、設定する ➡ 機能設定を選んで @ を押す
2	その他の設定を選んで 💩 を押す
_	- 一般 機能設定
	断気絶定 電源 ED : 入 台声設定 クイジア活動 : 入 望るよ船定 ディスプレイの設置設定 : ディスプレイスタンパ 境体機器協定 ボニーの設示形式 : 瞬間で その他の設定 本部の小園にと野新 : 本部の小園にと野新
	▶その他の設定について
	• 電源 LED P.63
	ディスプレイの電源LED の点灯/消灯を設定します。
	• クイック起動 12.64 ニッフプリノ電応「ユーはに映めたオばやノキニ」キオが、電応「切」(注機) はの迷巷電力が増加します
	ティスノレイ电源 入」时に映像を9はやく衣小しよ9か、电源 90」(付破)时の消貨电力が増加しよ9。
	ディスプレイの設置方法に適したスピーカーの出力をおこないます。
	 メニューの表示形式 P.64
	ディスプレイの設置方法に適した表示形式を設定します。
	• 画面設定 P.65
	本機の画面に関する設定をします。
	•本体リモコン設定 12.65
	本機の操作に使用するリモコンコートを4つのコートから選ぶことかできます。
	 日時設定 P.00 太櫟の中時データの入力を毛動で設定します
	本機の情報と更新 6 本機の情報と更新 1060
	ネットワークを使って、本機の制御プログラムを自動的に最新の内容に書き換えます。
雷派	原LED

本機の電源 LED の点灯/消灯を設定します。

その他の設定を表示中に、電源LEDを選んで 🗠 を押す

2 設定を選んで●を押す

Л	電源オン時は青色LEDが、信号待機状態時は橙色LEDが点灯します。
切	常に青色LEDが点灯しない状態です。信号待機状態時の橙色LEDは点灯 します。

設定が終わったら、「ホーム」を押してください。

クイック起動を設定する

電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を短縮できます。

その他の設定を表示中に、 クイック起動を選んで 💩 を押す

設定を選んで 🜚 を押す

Л	クイック起動を有効にします。 電源オフ(待機)時の消費電力が増加します。
切	クイック起動を無効にします。

設定が終わったら、「ホーム」を押してください。

[クイック起動]を[切]に設定している場合でも、本機の電源をオンにするとすぐに起動することがありますが、故障ではありません。

 自動で本機の電源がオン/起動しない場合は、[クイック起動]を[入]に設定するか、リモコンの電源ボタンを押して 手動で電源をオンにしてください。

ディスプレイの設置を設定する

本機の設置方法に適したスピーカーの出力をおこないます。

その他の設定を表示中に、ディスプレイの設置設定を選んで 💩 を押す

2

設定を選んで 💀 を押す

<u>ディスプレイスタンド</u> 壁掛け

── 本機の設置方法に適したスピーカーの出力をおこないます。

• 設定が終わったら、 (ホーム) を押してください。

メニューの表示形式を選択する(横置き・縦置き)

本機の設置方法に適した表示形式を設定します。

その他の設定を表示中に、メニューの表示形式を選んで 👳を押す

設定を選んで 💩 を押す

横置き 本機の設置方法に適した表示形式を設定します。 縦置き

設定が終わったら、ホームを押してください。

64

ビデオ画面自動切換の設定をする

ID-1 信号がある DVD などをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。

2 その他の設定を表示中に、画面設定 → ビデオ画面自動切換を選んで 2 設定を選んで ● を押す 2 入 10-1信号があるDVDなどをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、 画面サイズが自動で切り換わります。 切 ビデオ画面自動切換の機能を無効にします。 ● 設定が終わったら、ホームを押してください。

お知らせ ● ビデオ入力の画面が正しく切り換わらない場合は、本設定を[切]に設定してください。

本機のリモコンで他の当社製ディスプレイなどを 動作しないようにする

当社製のディスプレイを2台以上使用するときは、本機のリモコンに他のディスプレイが反応してしまう ことがあります。その場合は、本機側とリモコン側のそれぞれにリモコンコードを設定することで、他の ディスプレイが反応しないように設定できます。

(お買い上げ時の設定は、本機、リモコンとも[リモコンコード001]になっています。)

その他の設定を表示中に、本体リモコン設定を選んで 💩を押す

2

本機に割り当てるリモコンコードを選んで 💩 を押す

リモコノコートロロー	
リモコンコード002	
リモコンコード003	平低に刮り当てるりてコンコートを選ぶととかてきます。
リモコンコード004	

手順 2 で設定したリモコンコードをリモコン側に設定する

▶ <u>リモコンコード001</u>を選んだときは

ホームを押したまま、(0)→(0)→(1)を押す

- ▶ リモコンコード002 を選んだときは ホーム を押したまま、(0) → (0) → (2) を押す
- ▶ リモコンコード003 を選んだときは

「ホーム」を押したまま、(0)→(0)→(3)を押す

▶ リモコンコード004 を選んだときは

ホームを押したまま、(0)→(0)→(4)を押す

上記のように画面に表示されたメッセージに従ってリモコンの設定をおこなってください。

設定が終わったら、ホームを押してください。

日時設定をする

本機の日時データの入力を手動で設定します。



日時データを入力して 💿 を押す

- 設定が終わったら、 ホーム を押してください。
- ・ネットワークからデータを取得できる場合は自動修正します。

 日時データは、電源プラグを抜くと消去されます。

ソフトウェアを更新する

ネットワークを利用して、本機を更新するためのソフトウェアをダウンロードします。また、ソフトウェア のバージョン情報などもご確認いただけます。



とがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。 ● USBメモリーからソフトウェア更新を行うこともできます。詳しくは弊社サポートライブラリをご確認ください。 https://www.iodata.jp/p/236559

設定を初期化する

本機の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。



本機の情報を確認する

ソフトウェアバージョンや本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報に関する権利情報などを表示 します。





▶ バージョン情報

Software version

- ソフトウェアのバージョンを表示します。
- ライセンス情報 本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。
- ▷ 設定値コピー

本機の設定値に対する書き出しと書き戻しができます。

67

文字入力のしかた

- リモコンの 📩 を押すたびに、文字種類の切り換えができます。
- を押すと[全角かな]で入力中の文字や、漢字に変換中の文字を確定します。
 それ以外のときは、すべての文字を確定させて文字入力を終了します。
- ┏==== を押すとカーソルが1文字左へ、 === を押すとカーソルが1文字右へ移動します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに 📶 を押すと、半角スペースが入ります。
- 文字を入力していないときに 🕶 を押すと入力の先頭へ、 📂 を押すと入力の最後尾へカーソルが移動します。
- ▲・▼で文字入力部にハイライトを移動した状態で、
 カーソルが1文字左へ、
 た押すと入力が確定します。
- 文字入力に使うボタンと入力できる文字の種類は以下になります。
 また、▲・▼・ ◀・▶と 響 で以下の文字を入力することもできます。

ギタン	文字の種類					
M92	全角かな	全角力ナ	半角力ナ	英字/記号	数字	
1	あいうえお ぁいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエオアイウエオ	-	1	
2	かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	abc / ABC	2	
3	さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	def / DEF	З	
4	たちつてとっ	タチツテトッ	タチツテトッ	ghi / GHI	4	
້ 5	なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	jkl / JKL	5	
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフへホ	mno / MNO	6	
7	まみむめも	マミムメモ	ZETXE	pars / PQRS	7	
8	やゆよゃゅよ	ヤユヨャユヨ	₹ <u></u> 11	tuv 🖊 TUV	8	
9	らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	wxyz / WXYZ	9	
10/0	濁音/半濁音※1 全角記号※2	濁音/半濁音※〕	濁音/半濁音※1	半角記号※3	0	
11	わをんゎー、。 全角スペース	ワヲンヮー、。 全角スペース	ワヲン-、。 半角スペース	半角スペース	半角スペース	
12	番組記号※4	-	-	小文字/大文字	-	
青	全角カナに 切り換え	半角カナに 切り換え	英字/記号に 切り換え	数字に切り換え	全角かなに 切り換え	
早戻し	漢字に変換 前候補を表示 (漢字変換中)	-	-	全角/半角	全角/半角	
早送り	次候補を表示 (漢字変換中)	-	-	全角/半角	全角/半角	
ġ.	消去※5 変換取り消し (漢字変換中)		消去 ^{※5}		消去 ^{※5}	
再生 °►	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動	
一時停止	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動	

さまざまな 情報 ※11 押す: (四)

- ※1 押すたびに濁音(*)、半濁音(*)が切り換わります。 (例)か ◆ が ◆ か ◆ …、は ◆ ば ◆ ぱ ◆ は ◆ …
- ※2 押すたびに以下の順で切り換わります。 (文字を入力していない場合のみ) ·.@-__/:!"#\$%&'()*+、;<=>?[¥]^{|}~.。[][]● ○◎■□◆◇▲△▼▽★☆≧≦↑↓⇒⇔→←♂♀℃※

 入力または表示可能な漢字コードは、JIS
 第1水準、JIS第2水準のみです。
 未確定文字は最大9文字まで入力できます。
 表示される画面によっては、すべての文字が 表示されないことがあります。

各メディアに関するその他のお知らせ

USB機器について

- 本機のUSB1メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2メディア再生用(USBメモリー用)端子には、USBマスストレージクラス(大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBのデバイスタイプ)に対応したUSBメモリー、またはUSBカードリーダーが接続できます。
- 上記以外のUSB 機器は接続しないでください。USB 機器や本機の故障、記録しているデータの破損の 原因となります。また、本機とUSB 機器をUSB ハブ経由やUSB 延長ケーブルで接続した場合の動作 を保証するものではありません。
- ●本機のUSB1メディア再生用(USBメモリー用)端子/USB2メディア再生用(USBメモリー用)端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- ●本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電はおこなわない でください。本機の故障の原因となります。
 - ご注意 USB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
 - USB機器の認識中・読み込み中は、次のことをおこなわないでください。SDカード、USB機器や本機の故障、記録しているデータの破損の原因となります。
 - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
 - USBケーブルを抜く

動画ファイルについて

本機では、USBメモリーに保存された動画ファイル、またはホームネットワーク上の機器からの動画ファ イルを再生することができます。

■ USBメモリーに保存して再生できる動画ファイル

ファイル形式	AVI (.avi)	
映像	MPEG-4 SP/MPEG-4 ASP	
音声	MPEG Layer2/3/AC-3/E-AC-3	
ファイル形式	MPEG-1 SS (.mpg, .mpeg)	
	MPEG1	
音声	MPEG	
ファイル形式	MPEG-2 PS (.mpg, .mpeg)	
映像	MPEG1/MPEG2	
音声	AC-3/E-AC-3/MPEG/LPCM	
ノアイル形式		
映像	MPEG2	
音声	AC-3/E-AC-3	
ファイル形式	MP4 (.mp4)	
映像	MPEG-4/MPEG4 AVC/H.264/H.265/HEVC(最大解像度 3,840x2,160)	
音声	AAC-LC	

■ ホームネットワーク上の機器から再生できる動画ファイル

ご注意

映像	MPEG2、MPEG4 AVC/H.264(MPEG2-TS)

● 再生したいファイルが上表に示す形式やフォーマットであっても、すべての再生を保証するものではありません。
 ● ホームネットワークで再生できるのは、レコーダーなどで録画した放送番組のみです。

69

各メディアに関するその他のお知らせ(つづき)

写真ファイルについて

本機では、USBメモリーに保存された写真ファイル、またはホームネットワーク上の機器からの写真ファ イルを再生することができます。

■ USBメモリーに保存して再生できる写真ファイル

画素数 サブサンプリング 4:4:4、4:2:2 32×32~8.000×8.000

■ ホームネットワーク上の機器から再生できる写真ファイル

画素数

70

サブサンプリング 4:4:4、4:2:2 32×32~4,096×4,096

○ 再生したいファイルが上表に示す形式やフォーマットであっても、すべての再生を保証するものではありません。
 ● JPEG形式以外のファイルは再生できません。

● プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。

Motion JPEGには対応しておりません。

音楽ファイルについて

本機では、USBメモリーに保存された音楽ファイル、またはホームネットワーク上の機器からの音楽ファ イルを再生することができます。

■ USBメモリーに保存して再生できる音楽ファイル

ファイル形式	
WAV (.wav) 44.1 kHz, 48 kHz	MP4 (.m4a) 32 kHz, 44.1 kHz, 48kHz
	MP3 (.mp3) 32 kHz, 44.1 kHz, 48kHz

■ ホームネットワーク上の機器から再生できる音楽ファイル

ファイル形式		
LPCM	AAC	MP3

ファイルとフォルダーについて

▶ファイルとフォルダー

JPEGファイルが記録されたメディアは、「フォルダー」という大きな区切りと「ファイル」という小さな区切りで分かれています。デジタルスチルカメラでJPEGファイルが作成されたり、それらファイルをパソコンなどで保存したりする際、ファイルはフォルダーに分けて記録させることができます。

ファイル:

ひとつひとつのデータのことです。

フォルダー:

ファイルなどの集合を内包する階層のことです。 本機では、フォルダーの階層が10以上のファイルは認識されません。



フォルダー

ご注意 ● 再生したいファイルが上表に示す形式やフォーマットであっても、すべての再生を保証するものではありません。

仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

型番		LCD-SU551EPB	
種類			
		AC100 V 50 / 60 Hz	
		156 W (Typ)	
消費電力		待機時:0.5 W [クイック起動] を [入] に設定時:約10 W [*]	
音声	スピーカー出力	10 W + 10 W(同時出力)	
表示画素数		3,840 ドット × 2,160 ライン	
画面寸法		幅1209×高さ680 / 対角1387 mm	
ヘッドホン出力端子		φ 3.5 ステレオミニジャック	
ビデオ入力端子		(映像)1.0 V(p - p) 75 Ω(同期負極性) (音声)2.0 V(rms) ハイインピーダンス	
HDMI入力	端子	3 系統 3 端子 ARC対応(HDMI1入力端子のみ)	
LAN端子		RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB端子	USB 1 メディア再生 (USBメモリー用)	USB3.0準拠 Type A DC 5 V 最大900 mA	
	USB 2 メディア再生 (USBメモリー用)	USB3.0準拠 Type A DC 5 V 最大900 mA	
光デジタル音声出力端子		1 系統 1 端子	
外形寸法	スタンドあり	約1246(W) × 256(D) × 759(H) mm ※突起部含まず	
	スタンドなし	約1246(W) × 83(D) × 727(H) mm ※突起部含まず	
質量	スタンドあり	約15.5 kg	
	スタンドなし	約15.3 kg	
キャビネット材質		前面:PC/ABS+GF 背面:PS	
使用周囲温度		5 ℃~40 ℃	
傾斜設置角度		上向き/下向き20°	

※ [クイック起動]を[入]に設定した場合だけの消費電力となります。

リモコン	型番	LCDRC23
	電源	DC 3 V 単4 形乾電池2 本
	質量	約120 g(乾電池含む)
	操作範囲	左右各約30°以内、上下各約20°以内

● ディスプレイのV型(55V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

 この4Kディスプレイは日本国内用です。電源電圧の異なる外国ではお使いになれません。 また、アフターサービスもできません。
 This 4K display set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

- 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- 本製品は、高調波電流規格JISC61000-3-2適合品です。



●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスにつ いては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法



※お問い合わせいただく際は、商品 の型番をご田音ください。



https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/display

修理を依頼する方法

以下を梱包し修理センターへお送りください

●本製品

 \mathcal{Z}_{1}

●レシート、納品書など購入日を示すもの 修理依頼書(下記URLで印刷)

※名前・住所・TEL・FAX・E-Mail・症状を書いたメモでも可

〒920-8513石川県金沢市桜田町2丁目84番地 \bigcirc 株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合が あります。

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はお客様ご自担、返送時は弊社自担です。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※事前連絡は不要です。

※修理の流れ、費用や納期の目安などもこちらでご確認いただけ ます。なお、有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。 金額のご了承をいただいてから、修理いたします。(見積無料) ※修理依頼書はここから印刷できます。



【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。 【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱いには、充 分注意してください。

【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されま す。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバック アップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

液晶ディスプレイの回収・リサイクル

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。 液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製液 晶ディスプレイの回収·リサイクルのご案内や料金 のお見積もりをおこなっております。

詳細は、下記弊社Web ページをご覧ください。



https://www.iodata.jp/recycle_h/

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家 庭で排出される弊社製液晶ディスプレイのリサイク ルを実施しています。回収された液晶ディスプレイ は、新たな資源として生まれ変わります。弊社が無 料で回収・再資源化いたします。

詳細は、下記弊社Webページをご覧ください。





https://www.iodata.jp/recycle_k/
ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束 するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同 様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障し た場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品 書をご提示いただく事により、お買い上げ時より5 年間(ただし、1日当たりの最大使用時間は12時間 以内に限ります。12時間を超えて使用された場合 の保証期間はお買い上げ時より1年間となります。) 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換い たします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 中古品でご購入された場合
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは 損傷の場合
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、 または接続している他の機器やプログラム等 に起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意 書き等に反するお取扱いに起因する故障もし くは損傷の場合
- 7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは 損傷の場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた 場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した 場合

4 修理

- 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本 製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納 品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を 送付される場合、発送時の費用はお客様のご負 担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせ ていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3)本製品がハードディスク・メモリーカード等の データを保存する機能を有する製品である場合 や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の 際に本製品内部のデータはすべて消去されま す。弊社ではデータの内容につきましては一切 の保証をいたしかねますので、重要なデータに つきましては必ず定期的にバックアップとして別 の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4)弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製 品または接続製品内に保存されたデータの毀 損・消失等について、弊社は一切の責任を負いま せん。重要なデータについては、必ず、定期的に バックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2)弊社に故意または重過失のある場合を除き、本 製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のい かんを問わず製品の価格相当額を限度といたし ます。
- 3)本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を 修理し、または瑕疵のない製品または同等品に 交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償 責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

困ったときは

おかしいな?と思ったときの調べかた

電源

このようなときは…	ここをお調べください		
電源がオンにならない。	 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。P.22 		
	 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 		
	• 指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外に電源プラグを挿して		
	● 安全のための保護回路かはたらくため、電源かオンにならなくなります。 いったん 電源プラグを今のコンセントから抜いて、10分ほど		
	時間をおいてから、指定(表示)の電源電圧(交流100V)につなぎな		
	おし、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、弊社サ		
	ポートセンターにご相談ください。2.72		
	• 電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、電源プラグをコンセン		
	トから扱いく、電源をオンにしなおしくくたさい。それぐも電源かオンになら		
	▲ 電源プラグを抜いて 整社サポートセンターにご相談ください、P72		
	 「雷源LED]が「切]になっていませんか。P.63) 		
	 リモコンの乾雪池が消耗していませんか。P.11 		
	 リモコンの乾雪池の 00 が逆に入っていませんか。P.18 		
	 ディスプレイのリモコン受光部に正しく向けていますか。 		
	 ディスプレイのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 		
 ディスプレイの電源をオフにする	 「HDMI機器連動]が[入]、[HDMI機器の自動電源オフ]が[入]に 		
と、HDMIケーブルでつないだレ	なっていませんか。		
コーダーの電源がオフになる。	→ [HDMI機器の自動電源オフ]が[入]になっている場合は、本機の		
	電源をオノにするとHDMI-CEC対応機器の電源も連動してオノになります。		
	があります。P.59》		
ー 電源をオンにすると、「かんたん一括	• 「かんたん―括設定1をしていないときは、電源をオンにすると		
設定]開始画面が表示される	[かんたん一括設定]開始画面が表示されます。[P.23)		
電源がすぐにオフになる	• [無信号電源オフ]が[入]になっていませんか。		
	● [無信号電源オフ]が[入]になっている場合は、映像信号がなく		
	なつに仏感で約10秒栓ノと、日期的に竜源かれノになりますが、故障 ではありません。必要に応じて、「切」にしてください。。253		

	_	
_	_	_

このようなとさは…	してをの調べください	
リモコンで操作できない。	 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 	
	・ リモコンの乾電池の 争 が逆に入っていませんか。 🖻 18	
	 ・ディスプレイのリモコン受光部に正しく向けていますか。 	
	 ディスプレイのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 	
	 本機側とリモコン側のリモコンコードが合っていますか。P.65 	

74

予約タイマー

このようなときは…	ここをお調べください
予約タイマーが開始されない。	 予約タイマー開始時間に電源がオンになっていませんでしたか。 予約タイマー開始時間に本機の電源がオンになっている場合は予約タイマーは無効となります。予約タイマー開始時間までには本機の電源をオフにしてください。P.38>
予約タイマー終了時間に 電源オフされない。	 予約タイマーが連続して設定している場合、先に設定している予約タイマー実行中に手動でUSB再生やプレイリスト再生に切り換えしていませんか。 予約タイマーが連続して設定している場合、先に設定している予約タイマー実行中に手動でUSB再生やプレイリスト再生に切り換えを行うと、後に設定している予約タイマーは開始されません。 予約タイマーが連続して設定している場合、先に設定している予約タイマーは総了時間に電源オフされず、後に設定している予約タイマーの終了時間に電源はオフされます。P.39 例)13:00~14:00(予約タイマー1)、14:00~15:00(予約タイマーの設定状態 予約タイマー (13:00~14:00) 予約タイマー の設定状態
	本機の動作 予約タイマー1 USB再生 USB再生 USB再生 電源オフ
	予約タイマー〕 ブレイリスト再生 プレイリスト再生 電源オフ
	予約タイマー1 外部入力視聴 予約タイマー2 電源オフ
	予約タイマー1 電源オフ 予約タイマー2 電源オフ
	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

無線LANを使う際のお願い

- 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
 - ペースメーカー等の産業·科学·医療用機器等
 - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - 電子レンジやコードレス電話等の電化製品
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

- 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。
 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
- 無線LANやBluetoothなどで使用する2.4GHz帯は、USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の 近くで動作させると影響を受け、通信が遅くなったり、通信が切れてしまうことがあります。
 - USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで、本製品をできるだけ使用しないでください。
 5GHz帯の無線LANを利用可能な場合は、5GHz帯をご利用ください。
- 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。
 本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に 木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、
 電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア 間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。
- ・本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz帯をご利用ください。法令により、5GHz帯のW52(36,40,44,48ch)、W53(52,56,60,64ch)を屋外で使用することは禁止されています。5GHz帯のW56(100~140ch)は法令により屋外での使用が可能ですが、本製品でW56のチャンネルを指定した場合でも、レーダー波を検出した場合は、屋外で使用が禁止されているW52やW53へ自動的にチャンネルが変更される場合があります。そのため屋外で使用する必要がある場合は、2.4GHz帯をご利用ください。
- 5GHz帯で使用するチャンネルは36,40,44,48ch(W52) と52,56,60,64ch(W53)と100,104,10 8,112,116,120,124,128,132,136,140ch(W56)です。34,38,42,46ch(J52)の装置との通信はできません。
- W53(52,56,60,64ch)またはW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャンネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
 - 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、 右図の内容を示しています。
- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。
 ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に
 対応した製品をお使いください。



※本機は従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。

• 無線LANの性能や環境条件による影響など。



- 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネット ワークの使用状況などに影響されます。
- 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や 通信を保証するものではありません。
- 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

・ 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント 間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点が あります。_____

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)をこえてすべての場所に届くため、セキュリティに関する 設定をおこなっていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDや暗証番号またはクレジットカード 番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す (情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を 書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの 行為をされてしまう可能性があります。
- 本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定をおこなって製品を使用 することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合 の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、 製品を使用することをおすすめします。
 - ※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が 発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いか ねます。

▷本機は日本国内専用です

本機を使用できるのは日本国内だけです。
 This unit is designed for use in Japan only.

▷ 取り扱いに関すること

- 非常時をのぞいて、電源がオンになっている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
 故障の原因となります。
- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ[クイック起動]を[切]に 設定して、本機の電源をオフにしてから抜くことをおすすめします。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
 また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
 また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

▶ 使用しないときは

- ふだん使用しないとき
 電源をオフにしてください。
- 長期間使用しないとき
 電源プラグを抜いてください。

▷ 置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で 使わないでください。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。 また、本機が転倒や落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機を他のディスプレイやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。

万一、このような症状が発生した場合は、他のディスプレイやラジオなどからできるだけ離してください。
 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。

, 著作権などについて

▷ 商標・登録商標について

78

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- ●本製品に搭載されている「UD新ゴ R」、「UD新丸ゴ R」は、株式会社モリサワより提供を受けており、 フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
 Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラト
 リーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

▶ ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。 それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

本製品は、FreeTypeを使用しています。

Portions of this software are copyright (C) 2006, 2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

• 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

- 本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。
- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License(以下、GPL)に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License(以下、LGPL)に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアの ソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供 され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性につい ての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいか なる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。詳細については、 ►A ◆ [設定する] ◆ [機能設定] ◆ [その他の設定] ◆ [本機の情報と更新] ◆ [ライセンス情報] でご確認いただけます。 なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。 当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

【VCCI 規格について】

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

【高調波電流規格について】

JIS C 61000-3-2 適合品 本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

【J-Moss について】

この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法(JIS C 0950)」、「電気・電子機器の特定の化 学物質に関するグリーンマーク・ガイドライン」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情 報は以下をご覧ください。

https://www.iodata.jp/jmoss/

【本機について】

■バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。

- ※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせ ください。
- ※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。 ■有寿命部品について
 - ●本製品には、有寿命部品(バックライト、アルミ電解コンデンサーなど)が含まれています。
 - ●有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境(温湿度など)等の条件により異なります。
 - ●本製品は、一般家庭やオフィスでの使用を想定して設計されていますので、それ以外の環境でご使用される場合は、寿命が短くなる場合があります。
- ■その他
 - ●液晶パネルの周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。 液晶パネルが破損する恐れがあります。
 - ●液晶パネル上に滅点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.999%以上の有効画素と0.001%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障、あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
 - ●見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

取扱説明

₩

型番 LCD-SU551EPE

【アイオー・セーフティ・サービスのご案内】

万一の故障時にも安心してご利用いただく為の有償サービスです。優先電話(フリーダイヤル)受付や、故障時のスムーズな代品交換等、各種メニューを取り揃えております。詳細は下記弊社ホームページをご参照ください。

https://www.iodata.jp/iss/

※本製品ご購入日から60日以内にお申し込みください。

【ユーザー登録はこちら】・・・https://ioportal.iodata.jp/

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。 シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。 (例:ABC1234567ZX)

【ご注意】

- 1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部 または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。 また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんの で、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商品アンケートはこちら】 よりよい商品作りのため

アンケートにご協力願います。



